

# 豊川小だより

〒114-0003

東京都北区豊島 3-10-23

TEL:03-3913-4111

FAX:03-3913-4130

北区立豊川小学校

校長 中村 順子

## 6月号



「個性いろいろ 十人十色」 校長 中村 順子

豊川小学校にはたくさんの自慢があります。その一つに、校庭のあちらこちらに、季節ごとに多くの種類の花々が見られるということがあります。春は校章にもデザインされている桜に始まり、立派な藤棚からこぼれんばかりに咲く藤の花。そして初夏の今は、バラにツツジにあじさい、そしてザクロと、季節の移り変わりを花々で感じることができます。

それらの花が美しいうちに、ということで、図工科の授業では、花をモチーフにした「校内写生会」を行っています。写生会といっても、今年度は一日を使って実施するのではなく、図工の時間に何週かにわたって行う形をとっています。3年生はツツジが題材です。まずは普通の絵の具ではなく、発色のよいアクリル絵の具を使い、白・黄色・マゼンダ・紫で混色をしながら、色作りを楽しみました。たった4色の絵の具で、18種類の違った色を次々と作っていく子供たち。「さっきの色とちょっと違うのができた!」「この色、大成功!」などつつぶやきながら、色作りを進めていきました。次は、その色を使って、いよいよ画用紙に大きく下描きをしたツツジの花びらを塗っていきます。子供たちは、事前に水彩絵の具の扱い方を学んでいたこともあり、まるで本物のように華やかで、かつダイナミックなツツジの花を、あちらこちらの画用紙に咲かせていきました。私が参観していたのは1時間だけだったのですが、子供たちは自由な発想で「自分だけの色」を作りあげ、そしてツツジの大輪を仕上げていきました。作品作りを楽しんでいるその満足そうな笑顔は、見ていて本当に微笑ましく感じました。「十人十色」という言葉がありますが、文字通り、色作りでたくさんの色を作り上げていく楽しさをきっかけとして、個性あふれる自分の作品に自信と満足感をもつことができた子供たちでした。その自己肯定感は、子供たちの成長への大きなエネルギーになっていくことでしょう。

授業には、担任や担当教員が、個々の児童の学ぶ意欲を引き出し、着実に積み重ねていくための指導法、すなわち「しかけ」がちりばめられています。今回の図工科の授業にも、たくさんの「しかけ」があったことは言うまでもありません。その「しかけが入っている引き出し」をいかに多くもつことができるか。それが、私たちが日々取り組むべき研修・研鑽だと考えています。自己肯定感を感じながら成長するための「しかけ」である指導法を活用し、教職員一丸となって、これからも個性あふれる子供たちのさらなる成長を支えていきます。